



統計用語の解説

〔自然増収〕 国民所得の増加や消費の増大によつて、税制の変更や価格の改ていをしなくても、租税収入や専売益金の収入が増加することをいい、特にインフレの進行によつて名目所得の増加が著しい場合には非常

に多く生ずる。

〔片貿易〕 特定国との貿易関係が輸出あるいは輸入の一方にかたよつた状態をいへ、このため為替の受払関係もかたよつ、片為替と呼ばれる現象となる。

編 集 室

◎今年の台風は、本県には殆ど影響がなく、農家は3年続きの豊作に恵まれ、農村地帯も久振りに笑顔に包まれている。特に陸稲の成育は順調で平年作をはるかに上回り、収穫高は35~40万石と予想され、水陸稲合わせて240万石を上回することは確実視されている由。地方によつては何十、何百万の経費を投じて豊作祭や神社の秋祭りを準備しているところがあるそうだが、山車や御輿にける経費を何とか節約して、生活改善や生産設備の拡充強化へ回した方がよいと思う。最近経済企画庁が発表した国民生活白書によると戦後の国民所得は急激に上昇し、その生活水準も飛躍的に上昇しており、特に31年度は30年度に比べ名目国民所得で14% (実質増加率10%)、都市勤労者の所得は名目で9.8% (実質7.9%) も増加したことになる。しかし農村地帯は都市近郊、果樹園芸地帯を除いては収入増加は余り多くないようで消費生活面において住居費、被服費が都市では急激に上昇しているのに比べ純農村地帯は都市の低額所得者層と同様、旧態依然としており、家計費のうち文化費 (教育、交通、保健衛生) の占める割合が都市の16.2%に比べ、農村では12.5%にとどまっている。その増加率も都市の6%に比べ農村は3.4%に過ぎないことを見ても農村生活の向上が大きな問題となつている。私たちは底の浅い日本経済の特殊性をよく教えて農家経済の健全化を促進しなければならな

いだろう。

◎昭和30年12月に行われた県行政機構の大改革によつて、統計協会の市郡支部が有名無実となり、統計協会の在り方や下部機関の運営にいろいろの支障をきたしてきたために、今春来から下部機関結成の機運が立ち、各市町村関係者の献身的努力と相まつて去る8月26日には水戸地方、9月7日には土浦地方の統計事務連絡協議会がそれぞれ結成され、きたる10月8日には下館地方統計事務連絡協議会が誕生することになっている。これらの協議会は県統計協会の協力機関として、今後本県における統計思想の普及と調査統計の改善向上のため、各種の事業を活発に推進していくことは誠に御同慶に堪えない。今後の発展を祈念しやまない。

◎今年の全国統計大会は、去る9月18日福岡市電気ホールにおいて、全国の統計関係者1,600余名が出席して盛大に挙行されたが、今年は余りにも遠隔の地なだけにどうしても出席者が少かつたようで本県からも過ぎなかつた。統計法施行記念十周年と銘打つた統計の祭典としては一抹の寂しさを感じた。しかしその内容は実に豪華なもので、大内兵衛先生の記念演説をはじめ、榊原行政管理庁政務次官、東畑精一美濃部統計基準局長のあいさつ、あるいは統計表や統計図表、論文コンクールの入選者表彰などがあつた。最後に九州各県の郷土民謡が披露されて意匠大会の幕が閉じられた。 (N生)

◎表紙の写真は久慈郡大子町小久慈橋

近刊お知らせ

調査企画課では、昨年秋から各課局をはじめ関係官公庁、会社、団体の御協力を得て、戦後10年間における県況と県民生活の推移を明かにして一般県民の認識を深めるとともに、各種行政施策の資料に供するため画期的重要として「福祉茨城のすがた」を編集してきましたが、このほど印刷製本の運びとなりました。

この書は広く無料配付して多くの方々に御利用を願つて隔意のない御批判をいただくのが本意ですが、予想外の需要とそれに伴う印刷費の増加によつて各市町村（一部無償配布）以外の方々には実費負担をお願いしなければならぬことになりました。

そのため県統計協会としては、その充実した内容と貴重な資料を一般県民をはじめ、各学校、官公庁、会社、団体において十分活用していただくためにこのたび増刷して配付することにいたしました。

どうか上記事情を御了承のうえ、御希望の向はお申込み願います。

なお本書の申込みについては水戸、土浦、下館支庁統計係においても取扱っております。

昭和32年9月

茨城県統計協会

——戦後10年間の歩みが一目歴然・社会科教材としても最適——

「福祉茨城のすがた」 (B5版230頁 一部300円)
アート三色刷 美麗装本)

- (内容) 1.政治 2.行政 3.財政 4.土地、気象 5.人口 6.産業 7.経済 8.金融 9.家計、賃金 10.運輸、通信 11.新聞、ラジオ 12.電気 13.社会福祉 14.労働、保険 15.土木、建築 16.消防 17.総合開発 18.保健衛生 19.消費生活 20.教育 21.警察 22.司法

文化人のアクセサリー 昭和32年版 茨城県民手帳

毎年好評を戴いております県民皆様の「茨城県民手帳」を本年も刊行することになりました。県民手帳は私たちに欠いつながらのある茨城の概要や日常必要なことが盛り込まれています。

今年も是非あなたのポケットに一冊!

日記にも、参考書にも、統計資料にもお使いになれます

お申込は早目に、発行所又は支庁統計係、市町村役場へ

(特 色)

1. 丈夫で優美なデザイン
上質ビニール製カバー
2. 会議に、執務に、出張旅行等に携帯に便利で事務能率を一そう高めます
3. 代金 一冊 80円
非常に廉価です
代金現物引換
4. 頁数 約 200頁

(内 容)

- ◎統計資料編
 1. 茨城の歴史
 2. 都道府県別面積・世帯・人口
 3. 本県の位置・地勢・気象
 4. 市町村勢一覧
(各市町村の電話・面積・世帯、人口・有権者・農業・工業・商業)
 5. 農 業
 6. 林 業
 7. 水産業
 8. 鉱 業
 9. 工 業
 10. 商 業
 11. 民 生
 12. 衛 生
 13. 勞 働
 14. 教 育
 15. 財 政
- ◎付 録 編
 - ・昭和32年七曜表
 - ・昭和33年略曆表
 - ・年令早見表
 - ・中央主要官公庁一覧
 - ・県内主要官公庁・会社・団体一覧
 - ・当用漢字表
 - ・現代かなづかい
 - ・活字の大きさ
 - ・紙の仕上寸法
 - ・メートル法換算表
 - ・日歩年利換算表
 - ・主要食糧玄米石換算表
 - ・食品の栄養素一覧
 - ・手ぎわのよいしみぬき法
 - ・郵便、電話料金表
 - ・ダイヤ時刻表(自由記)
- ◎そ の 他
 - 県略図
 - 白 紙 (ミシン入)
 - けい紙
 - 住所録
 - わが家のおぼえ
- ◎行事予定表
旧暦・月のおもな行事など掲載
- ◎日 記 欄

発行所 茨城県統計協会 (茨城県調査企画課内)